



UD TRUCKS

エンジン オイルの正しい定期交換をしていますか？

ポスト新長期規制（2010年モデル）以降のエンジンを搭載した大型車クオンは、エンジンの寿命、性能などを維持するため、弊社が定めた時期と指定（推奨）する**純正UDエンジンオイル メガ マルチ VDS-4 または同等品**を使用して定期交換をお願いします。

■エンジンオイルの定期交換

エンジンオイル（含むフィルタ）の交換時期は、ポスト新長期規制（2010年モデル）以降、車両の年式（仕様）によってエンジン性能を維持するために必要な条件と適切な時期を定めています。

次頁に車両の使用条件を基に交換時期等を示した簡易的な一覧表を記載していますが、正確には車載の取扱説明書及びメンテナンスノートを参照の上、適切なエンジンオイルの定期交換を実施してください。



■エンジンオイルの定期交換を怠ると

エンジン本体のシリンダーライナー、ピストン、クランク シャフトおよびバルブ機構部品などが摩耗・劣化し、損傷する場合があります。燃費の悪化やエンジンの故障につながり、最悪の場合、**急激なエンジン回転上昇（過回転）、路上故障や車両火災**に至るおそれがあります。

また、燃焼時の汚れを取り込む清浄分散作用も低下し、**排ガス浄化装置（UDPC）の早期詰まり**の原因にもなります。以下は、エンジンオイル交換を怠ったことによる不具合事例です。

シリンダーヘッド上部バルブ周辺部
がヘドロ状になったオイルで固着



※1
潤滑不良によりスカッフ を起こした
シリンダーライナー



UD純正オイル



※1 スカッフとは…

エンジン内部において、潤滑不良や過負荷、オーバーヒートなどが原因でシリンダー壁の油膜が切れ、直接接触したピストンリングによって引っかき傷ができる現象のことです。



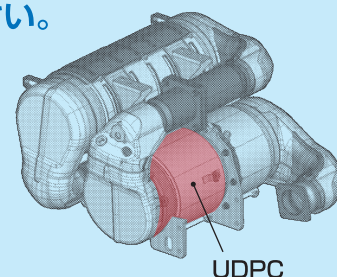
■UDPCが装着されているクオンには、**低アッシュ（灰分）の純正UDエンジン オイル メガ マルチ [VDS-4/DH-2級 規格]** を必ず使用して下さい。

UDPCとは…

UD車に搭載されている粒子状物質（PM）を低減させる装置のことです。

アッシュ（灰分）とは…

いわゆるエンジン オイルの“燃えカス”のことで、UDPCの手動クリーニングを実施しても除去されず、徐々に堆積されます。よって、純正UDエンジン オイル メガ マルチを使用しないと、UDPCの早期目詰まりにつながります。



UDPC

おことわり

UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証の対象になりませんのでご注意ください。

■定期メンテナンスについて

定期メンテナンス時期について、取扱説明書及びメンテナンスノートから抜粋し紹介致します。

なお、下記は主な条件をまとめたものになっています。使用環境によって算出方法が異なりますので、詳細に関しては取扱説明書をご確認いただくか、最寄りの販売会社にお問い合わせください。

◆ポスト新長期規制対応 2010年モデル以降の大型車クオン

※注意：年式によって性能向上等でメンテナンス時期が異なりますので、必ず車載の取扱説明書及びメンテナンスノートを参照ください。

エンジン	使用条件					交換時期（いずれか早く到達した時点での交換） 走行距離／時期／エンジン運転時間	
	平均燃費	年間走行距離※	付帯※ ¹	地形※ ²	総使用時間に対するアイドル時間の割合※ ³	純正UDエンジン オイル メガマルチ VDS-4	純正UDエンジン オイル エクストラマルチ DH-2
GH11 及び GH13	3.0 km/ℓ 以上	100,000 km 以上	条件Aおよび条件B 共に該当なし※ ¹	平坦地※ ²	25%未満※ ³	70,000 km 走行毎 / 1年毎 / -	40,000 km 走行毎 / 1年毎 / -
			条件Aまたは条件B 共に該当する※ ¹		25%以上※ ³	56,000 km 走行毎 / 1年毎 / -	30,000 km 走行毎 / 1年毎 / -
			条件A且つ条件B 共に該当する※ ¹	丘陵地※ ²	25%未満※ ³	56,000 km 走行毎 / 1年毎 / -	30,000 km 走行毎 / 1年毎 / -
					25%以上※ ³	40,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 500 時間運転毎	20,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 200 時間運転毎
	100,000 km 未満	—	—	—	56,000 km 走行毎 / 1年毎 / -	30,000 km 走行毎 / 1年毎 / -	
	2.5 km/ℓ 以上	—	—	—	—	56,000 km 走行毎 / 1年毎 / -	30,000 km 走行毎 / 1年毎 / -
	2.0 km/ℓ 以上	—	—	—	—	40,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 500 時間運転毎	20,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 200 時間運転毎
	1.5 km/ℓ 以上	—	—	—	—	30,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 400 時間運転毎	15,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 200 時間運転毎
1.5 km/ℓ 未満	—	—	—	—	16,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 400 時間運転毎	10,000 km 走行毎 / 1年毎 / - 200 時間運転毎	

※ 年間走行距離の条件は2014年モデル以降に付加されます。（2014年以前のモデルは平均燃費3.0 km/ℓ 以上は最上位の交換時期が適用されます）

※¹ 2014年モデル～2016年モデルのみ条件が付加されます。

・付帯※¹ 燃費や走行距離が最良の条件においてもエンジン稼働時間や道路環境によってエンジンへの負荷が異なるため設定

条件A ・アイドル割合（車両停止状態で稼働の割合）≥ 25%

条件B ・以下の条件がひとつでも該当する場合

・3%以上の勾配が全走行区間の25%から35%以内

・6%以上の勾配が全走行区間の1%から10%以内

・9%以上の勾配が全走行区間の1%以内

・最大勾配20%の場所を走行する

※² 2017年モデル以降のみ条件が付加されます。

・地形※² お車が使用されている環境（走行する道路環境によるエンジンへの負荷）

丘陵地 以下の条件がひとつでも該当する場合（丘陵地の条件に該当しない場合は平坦地となる）

・3%以上の勾配が全走行区間の20%以上を占めている

・6%以上の勾配が全走行区間の1%以上を占めている

・最大勾配20%の場所を走行する

お車のご使用される地形（平坦地／丘陵地）についてご不明な点は弊社販売会社にお問い合わせください。

※³ 2017年モデル以降のみに付加されます。

・総使用時間に対するアイドル時間の割合※³

平均燃費3.0 km/ℓ 以上で年間走行距離100,000 km以上の場合において、アイドル時間の割合（車両停止状態で稼働の割合）で負荷状態を判断

【その他】 PTO稼働時間、アイドル運転時間、が走行時間より多い車両（塵芥車、空港作業車、構内専用車）や特定用途（ダンプ、ミキサ、産業廃棄物運搬車、特殊なコンクリートポンプ架装車両、鉱山、採石場）などで使用される車両などは、エンジンの運転時間の影響が大きいため走行距離以上にオイルが早く劣化しますので、上表の交換時期に関しては運転時間毎を基準とした早めの交換をお願いします。